

6年間のカリキュラム

(2025年4月1日現在)

1
学年

外国語、人文・社会科学の科目の他、医学の基礎としての諸科学を学ぶ。

2
学年

1年次の科目に加え、専門的に医学を学ぶために人体の基礎知識を得る。

3～6
学年

医学・医療関連の生物学的、社会的、歴史的な知識を固めていく。

臨床各科の知識を修得し、臨床実習の準備をする。

慶應義塾大学病院、その他関連病院にて、直接患者さんに接する臨床実習が始まる。

6年間の最後、2月に医師国家試験を受ける。卒業後は、研修医、大学院などへ。

取得できる学位
学士(医学)

日吉キャンパス/信濃町キャンパス*

信濃町キャンパス

※週1回信濃町キャンパスの授業を受講します。

医療プロフェッショナルリズムを一貫して学ぶ先導プログラム
メディカル・プロフェッショナルリズム

医療人としての

6年間一貫

プロフェッショナルリズム教育

- 1学年：倫理学、法学、心理学、行動科学の基礎
- 2学年：医療制度・医療政策の基礎
- 3学年：研究倫理の基礎
- 4学年：臨床研究の倫理、医療コミュニケーション、医療プロフェッショナルリズムの原則と医師のあり方
- 5学年：医療事故、職域における保健・医療活動、医師の社会的役割とパブリックヘルス・マインドなど
- 6学年：「終末期医療」「脳死判定・臓器移植」「生殖医療の選択肢」「医療安全と裁判」などのテーマでグループ討議

医療系三学部合同教育 (p.89参照)

基礎教育科目

外国語科目

英語、ドイツ語、フランス語

人文・社会科学科目

基礎科学必修科目

数学、物理学、化学、生物学、物理学実験、化学実験、生物学実験

医学基礎教育科目

分子生物学Ⅰ、医学概論、行動科学Ⅰ

解剖・発生学Ⅰ、解剖・発生学Ⅱ

基礎・社会医学系科目

英語

組織学、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、医化学、分子生物学Ⅱ、病理学総論、病理学各論、医学統計・医療情報

行動科学Ⅱ、MCB、微生物学、免疫学、熱帯医学・寄生虫学、薬理学

衛生学Ⅰ、衛生学Ⅱ、公衆衛生学Ⅰ、公衆衛生学Ⅱ、法医学、医療政策・管理学

臨床医学系科目

内科学 呼吸器、循環器、消化器、腎臓・内分泌・代謝、神経、血液、リウマチ・膠原病

外科学 一般・消化器、小児、心臓血管、呼吸器、脳神経外科学、産科学、婦人科学、小児科学、精神医学、整形外科学、麻酔学・緩和医療、臨床検査学、放射線医学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科学、眼科学、皮膚科学、救急医学、形成外科学、リハビリテーション医学、歯科学、総合診療医学、感染症学、臨床薬剤学、漢方医学、腫瘍学、遺伝医療・ゲノム医療、症候学、CBT、臨床実習入門、基礎臨床統合医学、CPC

詳細は
p.40へ

臨床実習の基礎となる 密度の高い授業

MCB(Molecular Cell Biology)では、第一線で活躍されている研究者を学内外から招き、最先端の医学研究に触れ、Physician Scientist への研究マインドを醸成します。多くの臨床系授業が設置され、臨床医学の基本的知識と医療面接も含む臨床技能を身につけます。

臨床教育 を重視した豊富な実習

小グループに分かれて慶應義塾大学病院の診療科や関連病院をローテートする臨床実習を実施します。医療の現場で、直接患者さんと接する中で知識を深め、臨床技能を高めるとともに、豊かな人間性、責任感、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーションなど、医療に携わる者として不可欠な能力を学んでいきます。

臨床実習

内科学(呼吸器)臨床実習、内科学(循環器)臨床実習、内科学(消化器)臨床実習、内科学(腎臓・内分泌・代謝)臨床実習、内科学(神経)臨床実習、内科学(血液)臨床実習、内科学(リウマチ・膠原病)臨床実習、内科学臨床実習アドバンスト、一般・消化器外科学臨床実習、小児外科学臨床実習、心臓血管外科学臨床実習、呼吸器外科学臨床実習、脳神経外科学臨床実習、産科学臨床実習、婦人科学臨床実習、小児科学臨床実習、小児科学臨床実習アドバンスト、精神医学臨床実習、整形外科学臨床実習、麻酔学・緩和医療臨床実習、臨床検査学臨床実習、輸血臨床実習、放射線医学臨床実習、泌尿器科学臨床実習、耳鼻咽喉科学臨床実習、眼科学臨床実習、皮膚科学臨床実習、救急医学臨床実習、形成外科学臨床実習、リハビリテーション医学臨床実習、歯科学臨床実習、病理診断実習、総合診療医学臨床実習、地域基盤型臨床実習、選択臨床実習、選択型クリニカルクラークシップ、臨床能力総合評価

外部病院での実習

地域基盤型臨床実習、内科アドバンスト、選択臨床実習などでは、慶應義塾大学医学部の教育関連病院(慶應義塾大学医学部卒業生が多く勤務しており学生教育を依頼した病院)での実習も行っています。外部病院ではより実践的な実習や大学病院では症例数の少ない common disease(発生頻度の高い病気)の経験が可能です。

医学概論

EEPI

EEPII

医学生と教員が
マンツーマンで研究を行う
自主学習

医学概論とは

1年生に対し、信濃町キャンパスで開講される医学・医療の入門編の講義です。また、1ヶ月に一度、信濃町の専門科目教員とのゼミナールをおこないます。

EEPとは

「Early Exposure Program」の略。本格的な医学教育を受ける前の段階において、看護や介護の側面から医療現場を体験する実習カリキュラムです。低学年のうちから医療現場を体験することにより、患者さんを中心とするチーム医療を理解することを目的としています。「EEP」は1994年度以降、第1学年にて行われてきましたが、2018年度より、第3学年3学期にも、医師の活動内容に関する理解を深めることを目標とする「EEPⅡ」が導入されました。

自主学習とは

2021年に入学した学生からは、3年生の7月、9月、10月に、研究室に配属され、教員とマンツーマンで、研究活動をおこないます。夏休みを含めれば、4ヶ月間、研究に没頭できます。学内の研究室のみならず、海外や国内の学外施設での研究留学も可能になります。